



情報機器 R & Dセンター
センター長

竹山 博昭

Director
Research & Development Center
Information Equipment & Wiring Products
Manufacturing Business Unit

Hiroaki Takeyama

特集「情報機器関連技術」によせて

情報化社会の急速な進展により、家庭での TV によるインターネット接続や携帯電話による地上デジタル TV 放送の観賞、屋外での高速ワイアレスブロードバンドと PC や各種情報端末との組合せによる情報収集・管理など、「いつでもどこでもつながる」本格的なユビキタス社会が到来しています。私たちはその利便性を大いに享受し、生活スタイルは急速に変化してきています。

一方、昨今の不安定な社会情勢から安心・安全を個々のレベルで高めることや、温暖化防止のための CO₂ 削減目標達成など、エコロジーが大きな社会的課題としてクローズアップされており、私たちの暮らしにおいては防犯・防災や省エネルギーという生活ニーズとして顕在化しています。

当社では、これらのニーズに応えるとともに住宅やビルディングなどにおいてお客様に居住、業務のための「快適で便利な」空間を提供する各種電気設備やセンサ応用製品、またこれらをネットワーク化して新たな価値を創造するネットワーク型ソリューションの創出に取り組んでおります。

そのなかでも、安心・安全・便利・快適・省エネルギーを提供するホーム情報ネットワークシステム「ライフィニティ」は、市場で高い評価をいただいております。今後ますます充実、発展させて参ります。また一方で、太陽電池、燃料電池などの創エネルギー技術の実用化や普及、電気自動車社会への移行などの来るべき社会基盤の大きなパラダイムシフトを睨み、電気と情報の融合によって革新的な電力系インフラストラクチャ製品群の先行創出にも注力して参ります。

それらの核となる技術はセンサとネットワーク化であります。特徴あるセンシング機能を有する端末群が高度な信頼性とセキュア性をもちながら当社独自の「エミット」通信技術で有機的につながり、エコロジーを追求しながらの安心で安全な暮らしの提案と快適空間の創出を目指します。このため、以下の三つの軸を中心に技術・製品開発に取り組んで参ります。

- (1) 耐高照度距離画像センサや小型超低消費電流の人体センサ（モーションセンサ）に代表される独自のセンサ技術
- (2) 訪問者確認および宅内の状態をモニタする住宅情報コントローラをはじめとする設備コンポーネント群と、これらを結ぶセキュアで有線・無線のハイブリッドなネットワーク技術
- (3) 当社主力事業である電気ブレーカや分電盤を代表とする電力機器群と、電力と情報の一括制御で暮らしの省エネルギーを提供するパワーマネジメント技術

これらの技術の深耕を図るとともにパナソニックグループの総合力を結集し、エコロジーと安心・安全・便利・快適における新たな価値を創造する「電気+情報」設備ネットワークのパナソニック電工へとチェンジして参りますのでご期待ください。

本号特集では当社が目指す新しい技術的取組みの一端をご紹介させていただきます。ぜひともご高覧賜り、忌憚のないご意見・ご指導をいただければ幸甚に存じます。